

町の財政事情

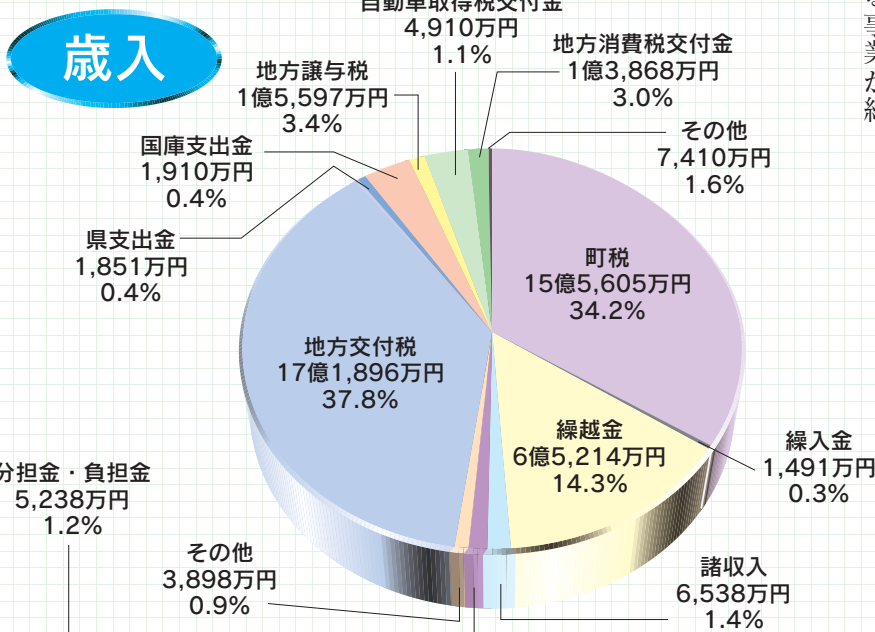
平成18年4月～9月

県からの補助金などが、どのくらいあって、ど
さんに町の財政（家計）に対する理解を深めて
います。今回は、平成18年度上半期（平成18年
年9月30日現在です。

一般会計の執行状況

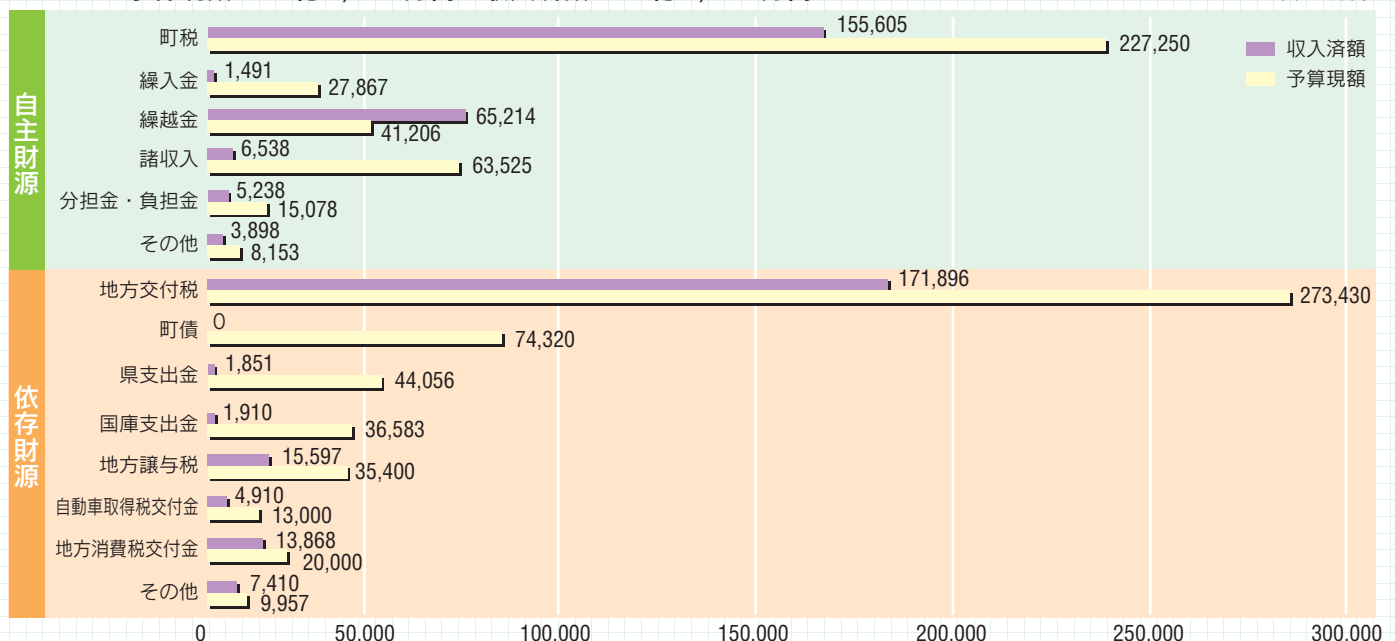
9月末日現在の執行状況は、次の
とおりです。
予算現額88億9、825万円に対
し、収入済額45億5、426万円で、
約51・2％の収入となっています。
収入済額の主なものは、町税と地
方交付税で全体の約72％を占めてい
ます。これは、町税や地方交付税は
年度内に平均して入ってくるもので
あるのに対して、国庫支出金や県支
出金、町債などは該当する事業が終

了してから交付されるものであるた
め、収入の時期が年度の下半期に集
中するためです。
一方、支出済額は35億9、853
万円で、約40・4％の執行率となっ
ています。
土木費や農林水産業費の執行率が
他と比較して低い理由は、道路整備
や土地改良事業など、既に事業が実
施されているものであっても、支払
時期は事業完了後となる下半期に集
中するためです。



歳入 予算現額：88億9,825万円 収入済額：45億5,426万円

単位：万円



※自主財源：町税や使用料・手数料など町が自主的に徴収できる財源をいいます。

※依存財源：地方交付税や国、県支出金など国や県の意思により額が決められ交付される財源をいいます。